

広大な日本庭園で楽しむ白雪のような桜と歴史的建造物の競演 横浜・三溪園「桜めぐり/ライトアップ」開催 2024年3月23日(土)～4月2日(火)

国指定名勝「三溪園」(所在地：横浜市中区)では、2024(令和6)年3月23日(土)から4月2日(火)まで「桜めぐり」を開催し、開園時間を21時まで延長します。

三溪園は、横浜・本牧の本牧通りと本牧桜道につながる約2kmの桜のアーチを通り抜けた先にあり、園内へ一歩足を踏み入れると、そこには古建築と自然が調和した風情あふれる空間が広がります。3月中旬～4月上旬は9種類約250本の桜が咲き誇り、関東圏では珍しい岐阜県ゆかりの桜も愛でることができます。

今年のライトアップは、桜や三重塔に加え、保存修理工事を終えたばかりの旧東慶寺仏殿(重要文化財)にも光を照らし、歴史的建造物が黄金色に光り輝く姿をご覧ください。

広大な日本庭園で、昼と夜、異なる桜と歴史的建造物の競演をお楽しみください。



桜めぐり

日程 | 3月23日(土)～4月2日(火)

時間 | 9:00～21:00(最終入園20:30)

※17:00以降は内苑と三重塔への山道は立入禁止となります

料金 | 入園料のみ



ライトアップ概要

日程 | 3月23日(土)~4月2日(火)

時間 | 18:30頃~21:00(最終入園 20:30)

場所 | 外苑(17:00以降は内苑と三重塔への山道は立入禁止となります)

料金 | 入園料のみ

旧東慶寺仏殿

1634(寛永11)年に造られたと伝えられる旧東慶寺仏殿(重要文化財)は1907(明治40)年、鎌倉・東慶寺から三溪園に移築されました。移築後は定期的な補修をおこなってきましたが、2020(令和2)年から3年以上をかけた屋根の葺き替え補修工事、耐震補強工事を終え鮮やかな輝きを取り戻しました。伝統技術を受け継ぐ職人たちにより整えられた建物は、昼間は繊細で質実な姿を、夜間は黄金色に輝き、荘厳な佇まいを感じさせます。



園内で楽しめる桜

三溪園 桜の見頃

花の名前	場所	3月			4月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬
オオカンザクラ	春草廬	桜				
ウスズミザクラ2世★	旧燈明寺本堂前、正門藤棚そば		桜			
ショウカワザクラ2世★	旧矢篋原家住宅(合掌造り)そば		桜	桜	桜	
オオシマザクラ	臨春閣前、雁ヶ音茶屋付近			桜	桜	
ソメイヨシノ	大池周辺など			桜	桜	
ヤエベニシダレ	八つ橋、鶴翔閣周辺など			桜	桜	
ヤマザクラ	初音茶屋近くなど				桜	
ヤナイヅタカクワホシザクラ★	内苑入口、酒花亭そば				桜	桜
ヤエザクラ	旧矢篋原家住宅など					桜

期間限定ショップ

桜めぐり期間中は、中央広場にてお土産を中心とした商品の販売をおこないます。崎陽軒「三溪園オリジナル月餅」や香炉庵「三溪園花文合わせ」など、三溪園コラボ商品も登場しますので、ぜひお立ち寄りください。



崎陽軒

日程 | 3月23日(土)~24日(日)
時間 | 10:00~15:30
内容 | 三溪園オリジナル月餅、
弁当の販売等

香炉庵

日程 | 3月23日(土)~28日(木),
30日(土)~31日(日)
時間 | 10:00~15:30
内容 | 和菓子の販売

梅工房むめや

日程 | 3月23日(土)~24日(日),
29日(金)~31日(日)
時間 | 10:00~15:30
内容 | 梅加工食品の販売



パン屋のオヤジ

日程 | 3月27日(水),30日(土),
4月2日(火)
時間 | 10:00~15:00
内容 | コッペパン等の販売



香老舗 松栄堂

日程 | 3月30日(土)~31日(日)
時間 | 10:00~18:00
内容 | お香の販売

*写真はイメージです。商品在庫がなくなり次第、終了となります。天候等により、出店日時は変更する場合があります。

三溪園について

三溪園は生糸貿易により財を成した実業家・原三溪によって創られ、1906(明治 39)年 5 月 1 日に一般公開されました。約 17.5ha(東京ドーム約 3.7 個分)に及ぶ園内には、廃仏毀釈などによる荒廃から守るため、京都や鎌倉などから移築された歴史的価値の高い建造物が巧みに配置されており、古建築と自然が調和した四季折々の景色が楽しめる日本庭園です。開園当初は「遊覧御随意」を掲げ外苑を 24 時間無料開放するなど、「美しいものはみんな一緒に楽しむもの」という原三溪の想いが反映されています。原三溪の存命中は新進芸術家の育成と支援の場ともなり、横山大観、下村観山、前田青邨らを輩出するなど、日本美術への貢献も評価されています。戦災により大きな被害をうけ、1953(昭和 28)年に原家から横浜市に譲渡されるのを機に財団法人三溪園保勝会が設立され、現在に至ります。2007(平成 19)年には国の名勝に指定され、現在園内にある 17 棟の古建築のうち 10 棟が重要文化財、3 棟が横浜市指定有形文化財に指定されています。

◆原三溪について

原 三溪 (本名 富太郎) <1868(慶応 4)年 - 1939(昭和 14)年>

岐阜県厚見郡佐波村(現在の岐阜県岐阜市柳津町)で代々に渡り、庄屋をつとめた青木家の長男として生まれる。幼少の頃から絵・漢学・詩文を学び、1885(明治 18)年、東京専門学校(現在の早稲田大学)に入学、政治・法律を学ぶ。1888(明治 21)年頃に跡見学校の助教師になり、1891(明治 24)年、原善三郎の孫娘、屋寿と結婚し原家に入籍。原家の家業を継ぐと、経営の近代化と国際化に力を入れ、実業家として成功を収める。住まいを本牧・三之谷へ移すと古建築の移築を開始し、1906(明治 39)年、三溪園を無料開園。1923(大正 12)年の関東大震災後は、荒廃した横浜の復興に力を注ぐ。三溪自身も書画をたしなみ、その作品の一部は、園内の三溪記念館に収蔵されている。



施設概要

施設名	三溪園(さんけいえん)
運営	公益財団法人三溪園保勝会
所在地	〒231-0824 神奈川県横浜市中区本牧三之谷 58-1
連絡先	TEL 045-621-0635
公式 HP	https://www.sankeien.or.jp
Instagram	https://www.instagram.com/sankeien_garden
X	https://twitter.com/HSankeien
入園料	大人 900 円 / 小中学生 200 円 横浜市内在住の 65 歳以上 700 円(公的証明書の提示が必要)
開園時間	9:00~17:00(最終入園 16:30) 桜めぐり期間中のみ 9:00~21:00(最終入園 20:30)
アクセス	JR 根岸線根岸駅から市営バスで 10 分「本牧」下車、徒歩 10 分 横浜駅東口から市営バスで 40 分「三溪園入口」下車、徒歩 5 分



本リリースに関する報道関係者からのお問合せ

公益財団法人三溪園保勝会 事業課 広報担当 岩本・加藤

TEL : 045-621-0635 / FAX : 045-621-6343

MAIL : websupport@sankeien.or.jp